

令和2年度 学校運営協議会

第1回 9月1日(火)に文書による開催連絡と資料送付

【送付資料】

1. 大阪府立生野高等学校 学校運営協議会委員名簿および実施要綱 (A3 両面)
2. 平成31年度 学校経営計画及び学校評価 (A3両面2枚)
令和2年度 学校経営計画及び学校評価 (A3両面1枚半)
3. グローバルリーダーズハイスクール 評価審議会 次第 (A3両面7枚)
4. SSH研究開発実施報告書 5年次 (一冊)
5. 令和3年度使用教科用図書選定報告書 (A4 両面6枚)

【委員の方々から寄せられた意見】

第1回学校運営協議会は、学校経営計画・学校評価等の資料を運営協議委員に文書で郵送しそれに返信して頂く形で実施した。議長を務める大学准教授からは、「学校経営計画」「学校評価」について、非常に多角的・多層的な手立てが講じられたことにより、総合的に高い成果を上げている。授業満足度など、生徒さんたちが高校生活を満喫している様子がうかがえる。SSH報告書については、大変充実した内容であり、進路実現に向けて大学を始めとする多様な機関と密接に連携を取りながら、文系・理系、教科の枠を超えて総合的な高い学力を保障できるよう日々奮闘されている様子がうかがえる。と回答頂いた。保護者の方からは、センター試験5教科7科目受験率を上げて欲しい。英語技能をはかる試験を積極的に受けさせて欲しい。地元の指導主事の委員からは市立中学校生徒とふれあう機会がとれたら、本校の良さが市内に一層伝わると考えられるとの意見を頂いた。

第2回 12月16日(水)開催

次 第

1 校長挨拶

2 協議事項

- (1) 本年度の学校経営計画(重点目標)の進捗状況について
- (2) グローバルリーダーズハイスクール(GLHS)事業の進捗状況について
R2年度GLHS評価シート(訪問用資料)について
- (3) スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業の進捗状況について
- (4) 教科探究委員会の取り組み
- (5) 三菱みらい育成財団について
- (6) 第1回授業評価の結果について
- (7) 学校教育自己診断(教員)の結果
- (8) その他

(資料)

1 学校経営計画

- 2 R2 GLHS 評価シート
- 3 SSH事業の進捗状況について
- 4 三菱みらい育成財団について
- 5 第1回授業評価の結果
- 5 学校教育自己診断（教員）結果

【協議事項】

第2回学校運営協議会は、学校に集まる形で実施した。学校側から、前回の「学校経営計画・学校評価」に加えて、グローバルリーダーズハイスクール（GLHS）事業の進捗状況、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業の進捗状況、教科探究委員会の取り組み、三菱みらい育成財団の進捗状況について報告した。まず、「学校経営計画」の他に、GLHS事業、SSH事業、三菱みらい育成財団助成事業など、公立高校でありながら、多数の事業に併行して取り組んでいることに賛辞を頂戴した。また、SSHは3期目12年目、GLHSは4期目10年目に入ることなどについて、多数の事業に参画しながら結果を出し続けていることについても謝辞を頂いた。本校は多数の多角的に事業に取り組んでいるために、経過報告を多くした。その中で、授業アンケートの全体結果が、H29:3.23(80.1)→H30:3.28(82)→R1:3.32(83)→R2:3.4(85)と上昇していることも多角的な取り組みが生徒からの結果につながっていると評された。

第3回 2月17日（水）開催

次 第

- 1 校長挨拶
- 2 資料確認
- 3 協議
 - (1) 本校の学校運営について
 - ①GLHS校
 - ②SSH校
 - ③三菱みらい育成財団認定校
 - ④教科探究とSSH校による発表活動について
 - ⑤文武両道のもと、「学業」と「部活」「行事」を大切にする学校運営について
 - ⑥英語教育活動（4技能開発の元）、語学海外研修や国内留学について
 - ⑦施設設備について[校舎建て替えについては大阪府70年耐久化方針下]
 - (2) 本校の教職員の状況について
 - ①月々80時間超過勤務超えはR1年：のべ14人→R2年：のべ11人（4人減）
 - ②ストレスチェックの総合健康リスクは、R1：116→R2：112（4減）
仕事のストレス要因（高い物） 作業環境、仕事の量負担、仕事の質負担
仕事のストレス要因（低い物） 技能活用度、働きがい、仕事適性度、人間関係
 - (3) 本校の魅力について
 - ①GLHS校として、競争倍率は毎年1.2倍を超える。
 - ②GLHS校の中では、競争倍率は1.5倍とかはなく低い方である。

(4) 本校の今後の進むべき方向性について（自由意見）

(5) 分掌より報告

- 進路指導部 共通テストや模試の状況
コロナによる影響等
- 自治会部 学校教育自己診断（生徒）の結果と分析
- 総務部 学校教育自己診断（保護者）の結果と分析

（資料）

- 1 本校志願者数に関する資料
- 2 教職員のストレスチェック結果
- 3 分掌からの資料
 - 自治会部
 - 総務部

【協議事項】

地元中学校や保護者からは本校のイメージとして、「近くて入れない学校」というイメージが強いとの意見があった。少なくとも地元で愛される学校とするため、今後中学校等との交流を更に深めていく必要があると思われる。

施設面ではかなり古く、改善が必要なのではという意見が多数寄せられた。今年度は様々な設備で老朽化による故障が相次ぎ、修理が大変であった。生徒が安心して学ぶことができるよう、今後も施設設備の改善に努めていきたい。

GLHSをはじめ様々な指定校になっているのはよいが、そのために一部の教員に負担が集中しているようなら、改善を図るべきであろうとの意見を頂戴した。その負担もさることながら、時間外勤務時間が月 80 時間を超えている教員の大部分は部活動付添によるものなので、府立高校全体の勤務体制改善が待たれるところである。

アンケート結果はほとんどの項目で良い方向に変化しているが、経年変化を見るだけでなく、何故そういう結果になったのか、教員間および生徒間で検討する作業が必要だとの意見をいただいたので、今後その点に関する活動に取り組んでいきたい。